



FUJI OOZX Inc.

フジオーゼックス株式会社

# 2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年10月27日

証券コード  
**7299**

- 1. 会社概要・事業概要**
- 2. 2023年3月期第2四半期決算概要**
- 3. 中期経営計画の進捗**
- 4. 2023年3月期通期 業績見通し**
- 5. ESG・SDGsへの取り組み**



# 会社概要・事業概要

## － 独立系のエンジンバルブ最大手

会社名	フジオーゼックス株式会社 FUJI OOZX INC.
市場・証券コード	東京証券取引所スタンダード市場・証券コード7299
本社	本社・静岡工場 静岡県菊川市三沢1500-60<菊川工業団地>
資本金	30億1,864万円（2022年3月末現在）
業績	売上高：223億円 営業利益：15.7億円（2022年3月末実績）
従業員数	（連結）1,112名（個別）555名（2022年3月末現在）
創業	1952年 6月
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種エンジンバルブその他エンジン関連部品商品、自動車部品の製作及び販売</li> <li>鋼材の加工及び加工製品の販売</li> <li>工作機械の売買、修理、賃貸借及び据付工事請負</li> </ul>
大株主	大同特殊鋼(株) 大同興業(株)

- エンジンバルブのトップメーカーとしてシェア約37%（当社調べ）
- 取引先は自動車、二輪、建機、農機、船舶
- 親会社の大同特殊鋼株式会社との共同開発による材料や自社開発の設備、高い技術力により常にエンジンの進化に貢献する製品を提供



## エンジンバルブ



## 中空バルブ



## リテーナ

主要得意先（50音順）

### ■自動車

いすゞ自動車（株） マツダ（株）  
スズキ（株） 三菱自動車工業（株）  
（株）SUBARU 三菱ふそう  
トヨタ自動車（株） トラック・バス（株）  
日産自動車（株） Mercedes-Benz AG  
日野自動車（株） UDトラックス（株）  
本田技研工業（株） ルノー

### ■二輪車

川崎重工業（株）  
スズキ（株）  
本田技研工業（株）  
ヤマハ発動機（株）

### ■産機・建機・農機

井関農機（株）  
クボタ（株）  
（株）小松製作所  
三菱重工業（株）  
ヤンマー（株）

### ■船舶

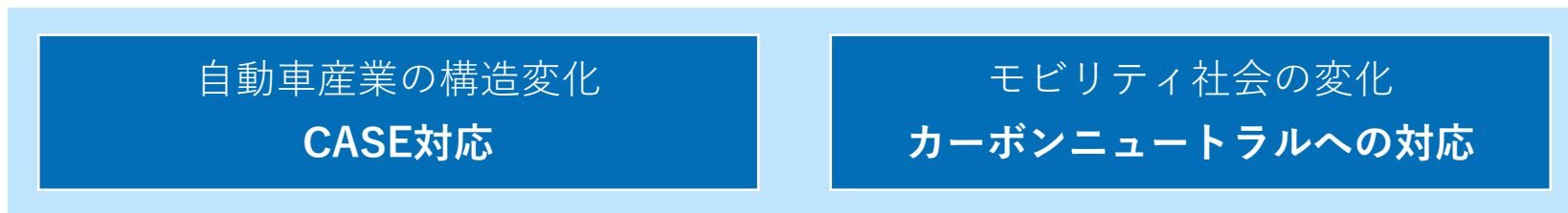
（株）赤阪鐵工所  
川崎重工業（株）  
JFEエンジニアリング（株）  
ダイハツディーゼル（株）  
（株）IHI原動機  
阪神内燃機工業（株）  
三菱重工業（株）

自動車販売台数 需要拡大見込み

	2020年		2030年
新車世界販売台数	0.8億台	+54% →	1.2億台
うち電動車率*	15%	+17% →	32%

\*燃料電池・電気・プラグインハイブリッド・ハイブリッド

出典 経済産業省



- ・コア技術によるエンジンの効率化、環境対応製品の開発
- ・新事業開発による事業分野の拡大



新たな企業価値を創造し、持続的な成長を実現



# 2023年3月期第2四半期 決算概要

# 業績ハイライト

- 売上高 : 前期の決算期統一影響により前期比△4%の減収（21年4～9月分との比較で10%の増収）
- 営業利益 : 前期の決算期統一影響および資源価格の上昇により前期比△46%の減益（21年4～9月分との比較で△18%の減益）

在外連結子会社を  
6ヶ月決算とした場合

在外連結子会社を  
6ヶ月決算とした場合  
との比較

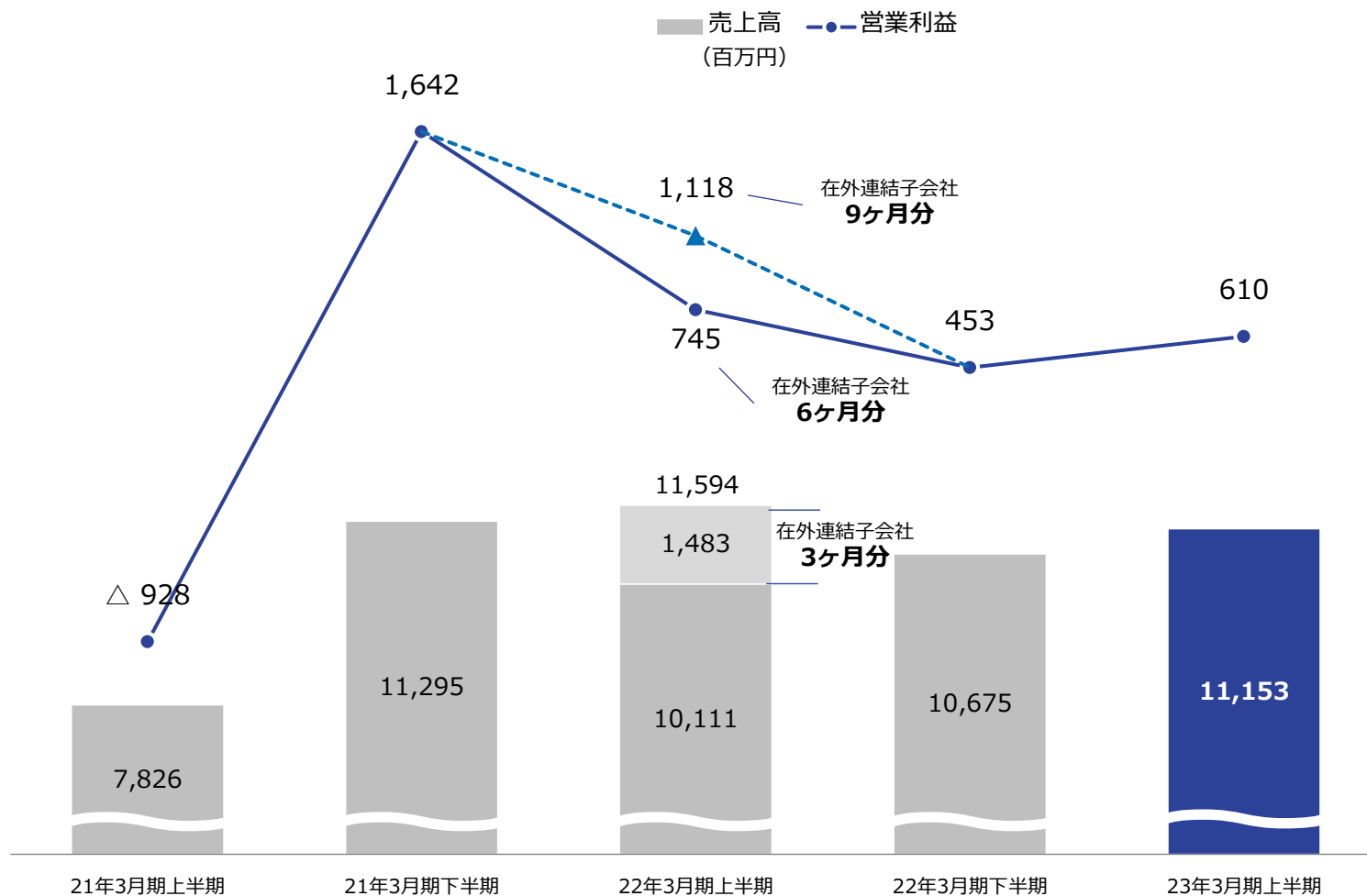
(百万円)	22年3月期2Q	＜参考＞ 21年4月～9月分	23年3月期2Q	前年同期比	＜参考＞ 21年4月～9月分 との比較
売上高	11,594	10,111	<b>11,153</b>	△441	+1,042
営業利益	1,118	745	<b>610</b>	△508	△135
営業利益率	9.6%	7.8%	<b>5.5%</b>	△4.1%	△2.3%
経常利益	1,213	847	<b>825</b>	△387	△22
親会社株主に帰属する 四半期純利益	813	547	<b>582</b>	△231	+35

※22年3月期2Qは決算期統一のため、在外連結子会社は9ヶ月決算となっております



# 売上高／営業利益 推移

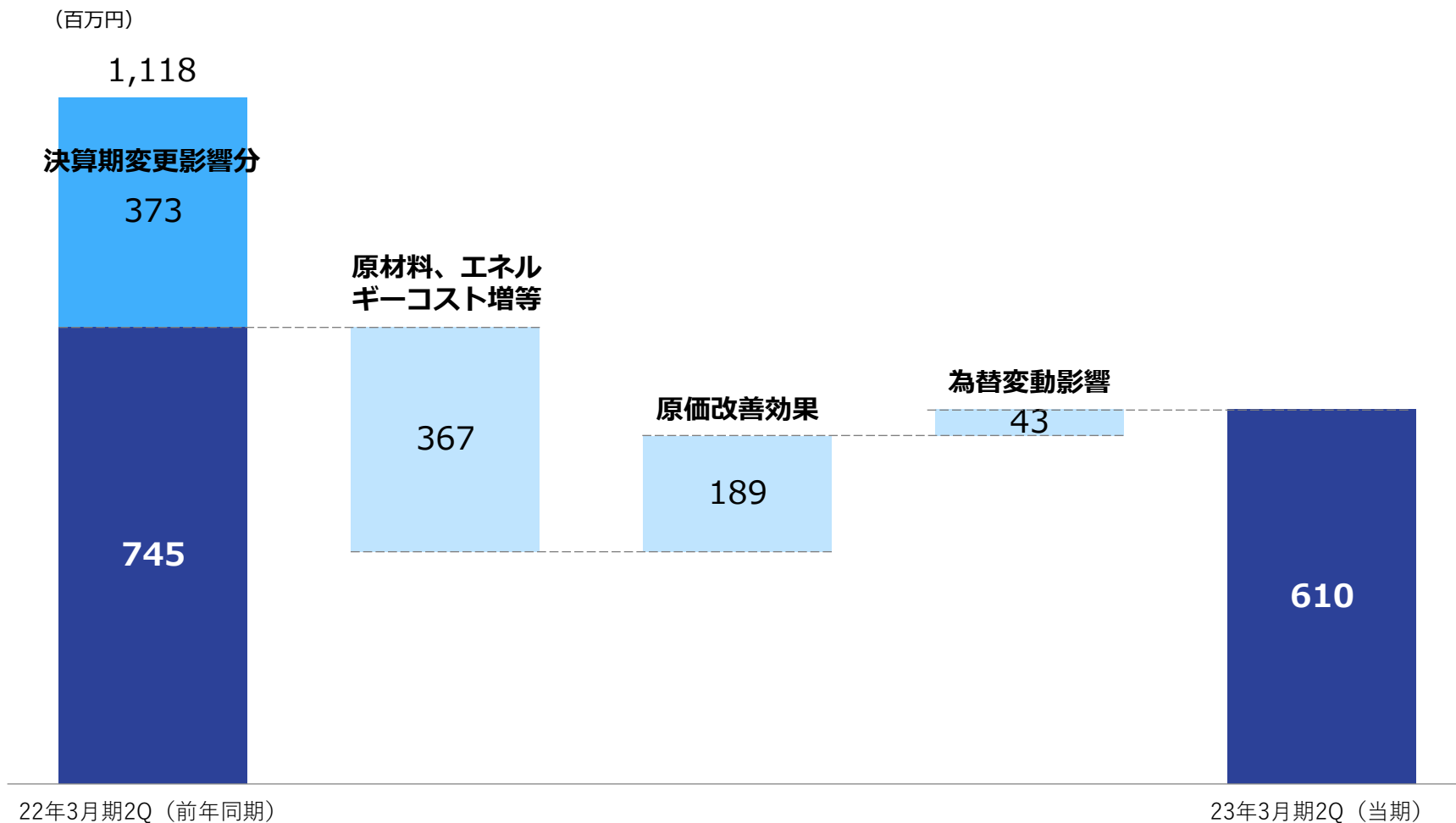
- 前年同期比で減収減益（21年4-9月比で増収減益）
- 前年下半期比で増収増益



※22年3月期上半期は決算期統一のため、在外連結子会社は9ヶ月決算となっております

# 営業利益の変化要因（前年同期比）

- 主な減益要因：決算期変更による影響、原材料・エネルギーコスト増
- 主な増益要因：原価改善活動効果、為替変動の影響（円安による海外子会社の利益増）



# バランスシート of 状況

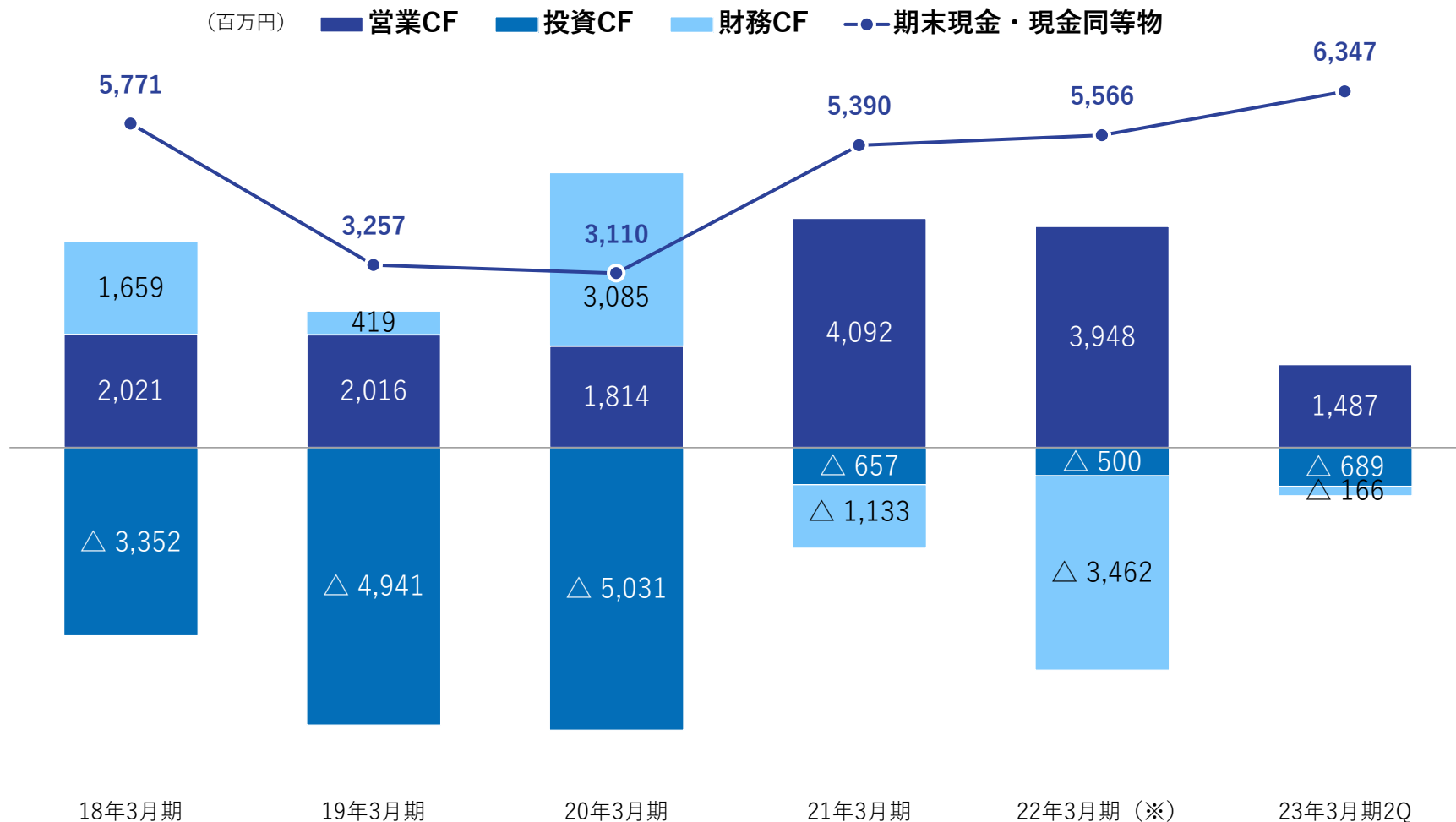
- 現金及び預金、預け金の増加等により資産が約11億円増加
- 自己資本比率77.9%（前期末比0.3%改善）

(百万円)

資産の部	22年3月末	22年9月末	増減額	負債・純資産の部	22年3月末	22年6月末	増減額
<b>流動資産</b>	15,412	<b>16,386</b>	+973	<b>流動負債</b>	6,552	<b>6,824</b>	+272
現金及び預金	5,546	<b>5,810</b>	+264	仕入債務	2,164	<b>2,073</b>	△91
売上債権	4,571	<b>5,081</b>	+509	短期借入金	2,591	<b>3,055</b>	+464
△貸倒引当金	△7	△7	±0	一年以内返済予定の長期借入金	297	<b>220</b>	△77
棚卸資産	5,089	<b>4,728</b>	△360	その他	1,500	<b>1,476</b>	△24
その他	213	<b>774</b>	+560	<b>固定負債</b>	759	<b>634</b>	△125
<b>固定資産</b>	19,260	<b>19,379</b>	+120	長期借入金	295	<b>185</b>	△110
有形固定資産	18,553	<b>18,667</b>	+114	その他	464	<b>449</b>	△15
無形固定資産	93	<b>98</b>	+5	<b>負債合計</b>	7,311	<b>7,458</b>	+147
投資その他の資産	613	<b>615</b>	+1	<b>純資産</b>	27,362	<b>28,307</b>	+946
<b>資産合計</b>	34,672	<b>35,765</b>	+1,093	<b>負債・純資産合計</b>	34,672	<b>35,765</b>	+1,093

# キャッシュフロー

- 設備投資が一巡し、投資効果により営業キャッシュが拡大
- 現金・現金同等物は781百万円増加



※22年3月期は決算期統一のため、在外連結子会社は15ヶ月決算となっております



# 2023年3月期通期 業績見通し

## 前回発表予想からの変更点

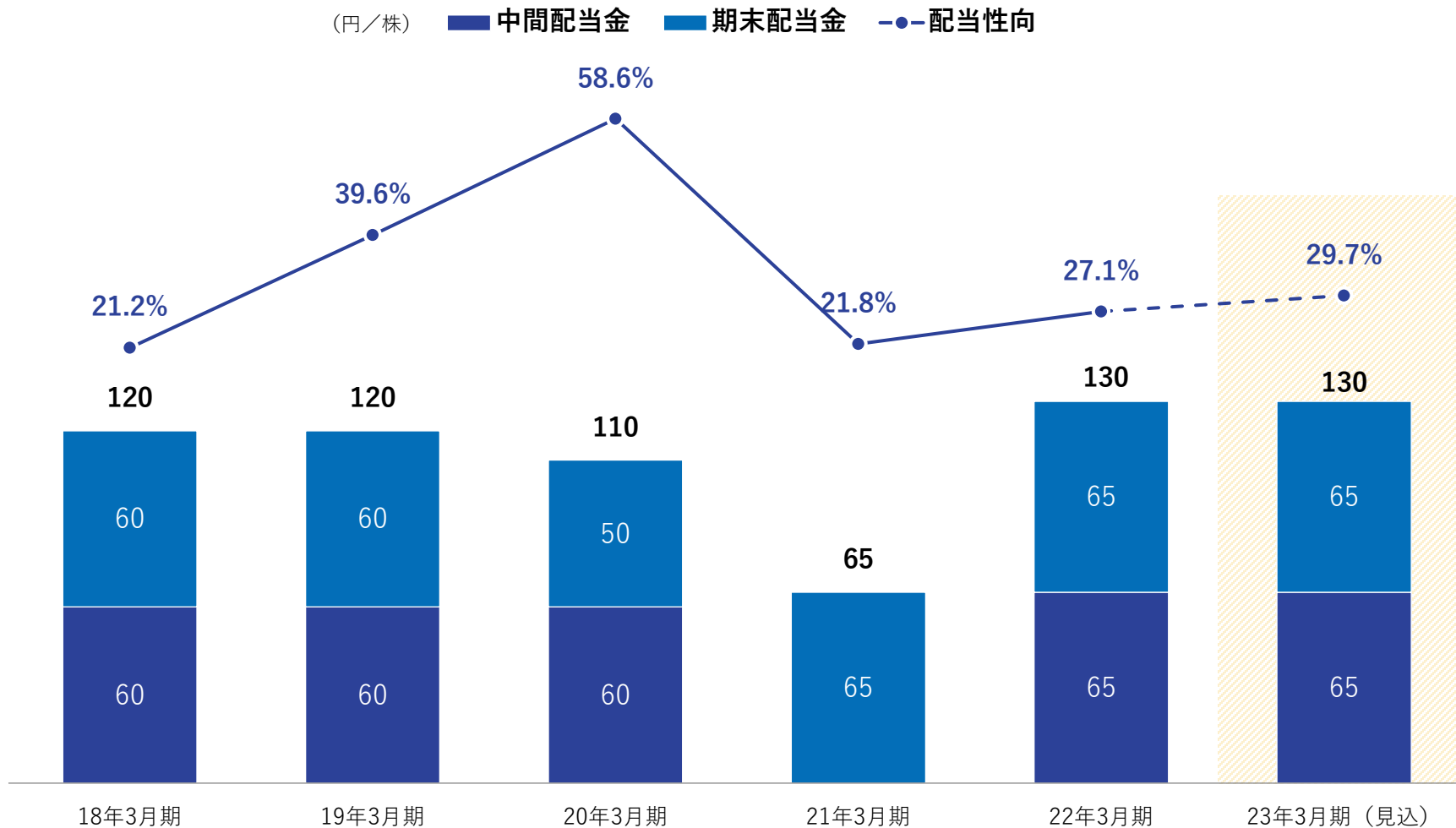
- 売上高 : 海外子会社売上為替換算差および材料サーチャージによる販売単価アップにより+2%の増収
- 経常利益 : 為替変動により+8%の増益

在外連結子会社を  
12ヶ月決算とした場合

(百万円)	23年3月期 (前回発表予想)	23年3月期 (今回発表予想)	増減額	<参考> 22年3月期	<参考> 21年4月~22年3月分
売上高	22,000	<b>22,500</b>	+500	22,269	20,786
営業利益	1,300	<b>1,300</b>	±0	1,571	1,198
営業利益率	5.9%	<b>5.8%</b>	△0.1%	7.1%	5.8%
経常利益	1,300	<b>1,400</b>	+100	1,784	1,418
親会社株主に帰属 する当期純利益	900	<b>900</b>	±0	985	720

※22年3月期は決算期統一のため、在外連結子会社は15ヶ月決算となっております

- 配当性向30%を目標に収益力の向上及び財務体質の強化を図りながら、安定的かつ適正な利益還元を実施





# 中期経営計画の進捗



## 新分野 = N F (New Field) 3つのアプローチで探索

1. ターゲット **内燃機関部品以外の外販事業**

2. 売上目標 **13**億円/23年度 **100**億円/30年度

	項目	2021活動実績	2022活動計画
新分野	<b>NF1</b> 有望企業のM&A 外部提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 外部情報ソース拡充</li> <li>- 企業評価基準確立</li> <li>- 企業評価実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>最終合意 1件以上</b>                              企業価値算定、意向表明、                              デューデリジェンス、                              シナジー、PMI想定</li> </ul>
	<b>NF2</b> 成長分野・シナジーを活かした 事業化 社内企画提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>新規事業具体案検討</b>                              医療、EV、                              カーボンニュートラル関連等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>新規事業具体案検討の継続</b>                              医療、EV、カーボンニュートラル、                              3Dプリンタ、ドローン、                              地域貢献関連等</li> </ul>
	<b>NF3</b> 連結子会社関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>移動コンビニ事業</b></li> <li>- <b>デイサービス事業拡充の検討</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>連結子会社との協業探索の継続</b></li> </ul>



# SDGsへの取り組み

# カーボンニュートラルへの取り組み①

- CO2排出量の削減目標： △20%（2023年まで）  
△50%（2030年まで）

## カーボンニュートラルに向けたロードマップ



再生エネルギー  
への転換

①太陽光発電システムの全拠点（※）への導入



省エネ化の推進

①エア使用ゼロモデルラインの構築



②エア使用ゼロラインの全面展開、LPG代替燃料への転換



※日本、中国、インドネシア、メキシコの4拠点

# カーボンニュートラルへの取り組み②

- グループ全拠点に太陽光発電システム設置

900Kw  
2022年2月～

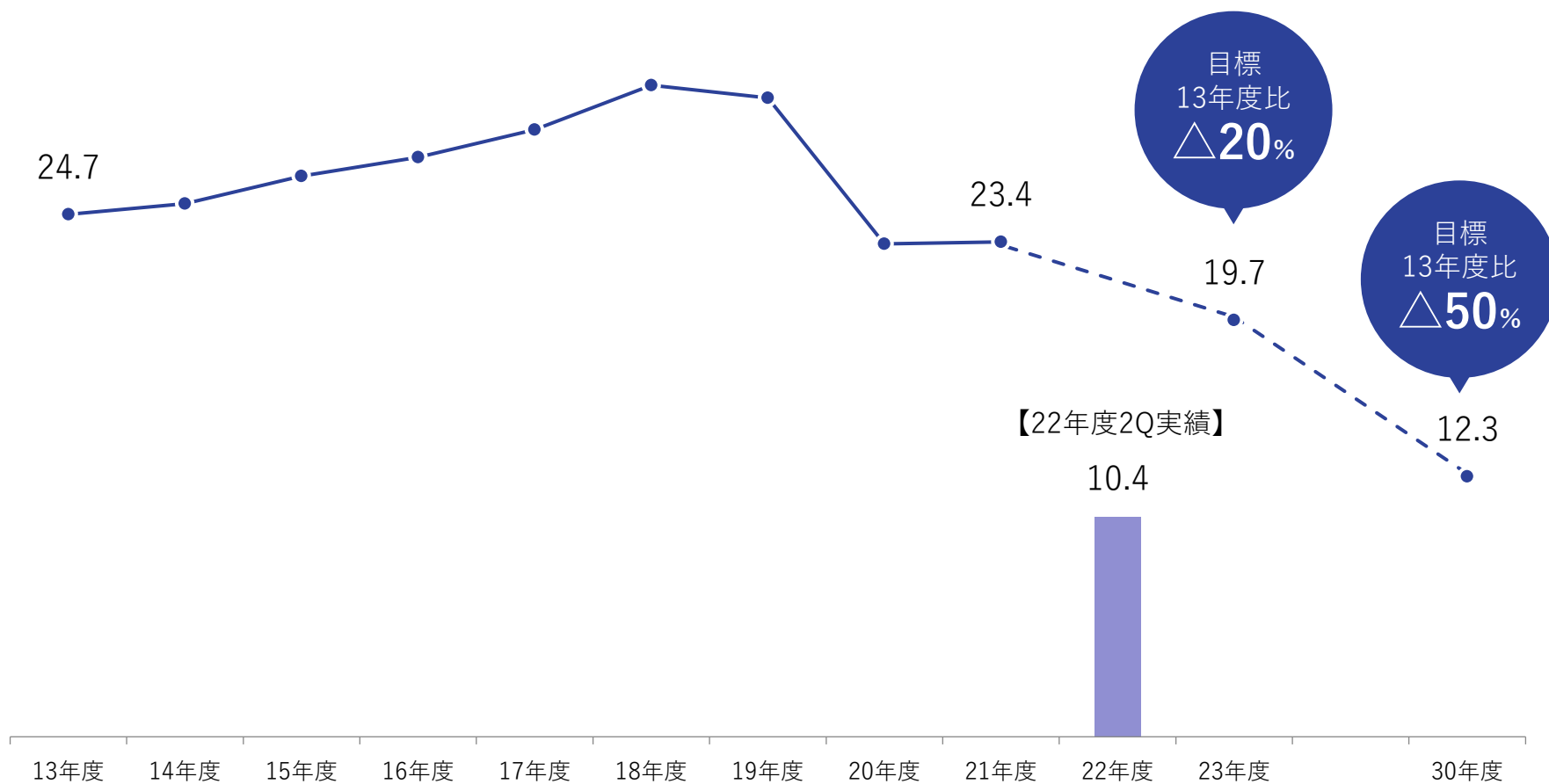
設置エリア拡大

最終合計  
≧1万kw  
を計画



## CO<sub>2</sub>排出量の推移（単体ベース）

（千t/年）



本資料に記載されております業績の見通し等の数値につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成しております。

今後発生する経営環境の変化等により実際の業績が大きく予想と異なる可能性がありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また、今後予告なしに見通し数値が変更されることがあります。

本資料の情報の使用による結果について、弊社は何ら責任を負うものではございませんのでご了承下さい。

お問合せ先

**フジオーゼックス株式会社**

**経営企画部**

**TEL** 0537 - 35 - 5847

**E-mail** fuji@oozx.co.jp